

第 10 課 覚えよ、忘れてはならない 12 月 4 日

1. あなたの神、主を覚えなさい。

- ①申命記 8 章 18 節。
- ②聖書の他の部分のどこに、似た訴えが見つかりますか？ エレミヤ書 51 章 50 節、コヘレトの言葉 12 章 1 節、他。
- ③なぜ、良い時にも、悪い時にも、主を覚えることが重要なのですか？

2. 主が、いかにあなたを救い出されたか、を覚えなさい。

- ①申命記 24 章 18 節。
- ②申命記 5 章 15 節。
- ③申命記 16 章 12 節。
- ④なぜ、主がいかに私たちを救い出されたか、を今日も覚えることが重要なのですか？ エフェソの信徒への手紙 2 章 1～13 節。
- ⑤いかに主があなたを救い出されたか、をシェアしてください。

3. 主と共に歩んだ過去のあなたの歴史を覚えなさい。

- ①申命記 32 章 7 節（ローマの信徒への手紙 15 章 4 節も参照）
- ②申命記 8 章 2、4 節—40 年間の放浪。
- ③申命記 24 章 9 節—ミリアムに何が起きましたか？
- ④主が私たちの過去の経験の中で、活動的に関わっておられた様子を振り返ることが、なぜ、助けになるのですか？
- ⑤主があなたにご臨在と力を、印象深い形で啓示された時のことを、シェアしてください。

4. 一つの見失われた「覚えなさい」

- ①出エジプト記 20 章 8 節に記されている十戒の第 4 条は、「覚えなさい」（新共同訳では「心に留め」という言葉で始まっています。申命記 5 章 12 節で、モーセは、第 4 条をいかに述べていますか？
- ②なぜ、モーセは、覚えよ、ではなく、守れ、という言葉を使っているのですか？主は、私たちに、安息日を聖別するために「覚える」ことを望む気持ちを変えられたのですか？
- ③「守れ」という言葉の使用は、第 4 条の重要性を、いかに強めますか？申命記 4 章 40 節。
- ④安息日が神様の聖なる日であることを知りながら、それを守ることに失敗した時のことを、シェアしてください。
- ⑤安息日を聖別するために、覚え、かつ、守った時に経験した祝福は、どんなものでしたか？

5. 忘れてはならない。

- ①申命記 4 章 9、23 節。主の教えと導きについての私たちの証しを、子どもや孫に伝えることが、なぜ、重要なのですか？
- ②何が原因で、主がしてくださったすべてのことを忘れるのでしょうか？申命記 8 章 10～17 節。
- ③忘れやすいという罍を、いかに避けることができますか？